

# 平成8年 新年のあいさつ

平成8年1月9日（火）

ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

顧みますと、昨年は、いろいろなことがありました。特筆すべきは、創立18周年記念大会を成功させたこと、森谷先生がみごとに5段に昇段したこと、さらに、区民大会において、中学3年の部で石田恒平君が優勝したことです。

その他行事面では、合宿を小学校体育館で行ったこと、久しぶりにハイキングに行ったこと、阪神・淡路大震災の被災者に義援金（思いやり）を送ったこと等が挙げられます。

また、成績面では、飛桜館大会（森谷，角本純，和泉）及び本郷大会（角本幸，中村，森谷）において、それぞれ団体女子の部で第3位に入賞したこと、昇段審査にも7名が合格（5段森谷，2段二瓶，初段宮沢，牛島，平川，大場，森谷）いたしました。これで創立以来18年間で中学生の初段は、63名が誕生したことになります。

今年の最大の事業目標は、20周年記念大会の準備を行うことです。そのためには、記念誌作成に必要な過去10年の事業実績を整理したり、会則の見直し等を行う必要があります。

また、指導目標としては、今年の標語を「じがくじしゅう ひやくれんじとく自学自習（百錬自得）」とし、自ら学び、自ら習う態度を養うことを目標とします。

自学自習（百錬自得）とは、自分自身の体験・努力（鍛えに鍛えること）によって、知識や技術を会得（体得）することです。他からの教えを待つのではなく、自分から積極的に（進んで）学び習う姿勢がないと何事も大成いたしません。稽古へ積極的に参加し、自学自習（百錬自得）を実践して欲しいと思います。

## 【参考】標語の歴史

|       |      |      |           |    |            |
|-------|------|------|-----------|----|------------|
| 昭和56年 | 努力   | 62年  | 感謝        | 5年 | 飛躍（ジャンプ）   |
| 57〃   | 耐える  | 63〃  | 初心と基本     | 6〃 | 気          |
| 58〃   | 克つ   | 平成元〃 | つづける      | 7〃 | 思いやり       |
| 59〃   | 元気   | 2〃   | せめる       | 8〃 | 自学自習（百錬自得） |
| 60〃   | 流汗   | 3〃   | がんばって     |    |            |
| 61〃   | あいさつ | 4〃   | 挑戦（チャレンジ） |    |            |

# 平成9年 新年のあいさつ

平9年1月12日(日)

ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

顧みますと、昨年は、いろいろなことがありました。特筆すべきは、北林先生が5段に昇段したことです。実に8年ぶりの昇段(快挙)でした。また、会員が少なくなる中で初心者が一挙に10名(小学生6名、大人4名)が入会したことです。少し残念だったことは、中学生の出席が少なかったこと、各支部の大会及び区民大会において入賞がなかったことです。

これらは今年に期待したいと思います。

その他行事面では、ハイキングで「金沢自然動物公園」に行ったこと、夏期合宿で御殿場「国立中央青年の家」に行ったことで行事面では活発だったと思います。

昇段審査では2名が合格(5段北林、初段中村繁)いたしました。これで創立以来19年間で中学生の初段は、64名が誕生したことになります。

今年の最大の事業目標は、創立20周年記念大会を成功させること、記念誌を無事発行することです。そのためには、皆さんの協力がどうしても必要になります。

また、指導目標としては、今年の標語を「初心忘れず」とします。

我が剣友会も今年で創立20周年を迎えますが、20年を振り返って、今後の10年、20年を展望したいと思います。

皆さんも、我が剣友会に入会した当時を思い出し、初心に返って新たな気持ちで剣道修業に励んで欲しいと思います。

年月が経過するに従って、ややもすると初心を忘れがちになります。純粋な最初の志というものは、自分の人生において貴重で尊いものです。初心を忘れずに継続することが、成功への近道なのです。稽古がたらくくじけそうになったり、勉強が、仕事が、忙しくて剣道をやめようと思うことは誰しもあることです。そこを乗り越えるかどうかで人生が変わるのです。剣道の目的は「こころとからだをきたえること」を忘れずに……

## 【参考】標語の歴史

|       |      |     |           |    |            |
|-------|------|-----|-----------|----|------------|
| 昭和56年 | 努力   | 62年 | 感謝        | 5年 | 飛躍(ジャンプ)   |
| 57年   | 耐える  | 63年 | 初心と基本     | 6年 | 気          |
| 58年   | 克つ   | 平成元 | つづける      | 7年 | 思いやり       |
| 59年   | 元気   | 2年  | せめる       | 8年 | 自学自習(百錬自得) |
| 60年   | 流汗   | 3年  | がんばって     | 9年 | 初心忘れず      |
| 61年   | あいさつ | 4年  | 挑戦(チャレンジ) |    |            |

# 平成10年 新年のあいさつ

平成10年1月11日(日)  
ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

顧みますと、昨年は、いろいろなことがありました。まず、創立20周年記念大会を無事成功させたことです。会員の一致団結した協力体制が遺憾なく発揮され、また、当日、大会を祝して記念誌が発行されました。大きな成果であったと思います。

しかし、少し残念だったことは、稽古にほとんど出てこない会員が増えてきたこと、各種大会に入賞できなくなったこと、が挙げられます。

その他行事面では、ハイキングで「吾妻山」に、夏期合宿で「国立中央青年の家」に行ったことで活発だったと思います。

昇段審査では4名が合格(初段:近藤母、水野父、水野母、藤波)いたしました。これで創立以来20年間で中学生の初段は、65名が誕生したことになります。

さて、今年の標語は「**姿勢**」とします。剣道では、常に「正しい姿勢」が求められていますので、修行を積みば積むほど良くなってきます。有効打突は「適正な姿勢」が求められますし、昇段審査でも正しい姿勢は大きなポイントになっています。

この「**姿勢**」には、「体の姿勢」と、「心の姿勢」とがあり、「心の姿勢」は、言葉づかい、身なり、態度に現れてきますので、「心の姿勢」にも気をつけなければなりません。

剣道で「心身」ともにきたえて「正しい姿勢」となるようがんばろうではありませんか。

そのためには、まず剣道を好きになることが大事です。

剣道を好きになるには、どうしたらよいか?

- ・ ① 稽古を楽しむこと
  - ・ ② 稽古を休まないこと
  - ・ ③ 技の研究(見取稽古・創意工夫・反省)すること
  - ・ ④ 技・段級・健康などの目標(近い、遠い)をもつこと
- を考えながら、がんばりましょう!!

## 【参考】標語の歴史

|          |      |      |           |     |            |
|----------|------|------|-----------|-----|------------|
| 昭和56年(初) | 努力   | 62年  | 感謝        | 5年  | 飛躍(ジャンプ)   |
| 57〃      | 耐える  | 63〃  | 初心と基本     | 6〃  | 気          |
| 58〃      | 克つ   | 平成元〃 | つづける      | 7〃  | 思いやり       |
| 59〃      | 元気   | 2〃   | せめる       | 8〃  | 自学自習(百錬自得) |
| 60〃      | 流汗   | 3〃   | がんばって     | 9〃  | 初心忘れず      |
| 61〃      | あいさつ | 4〃   | 挑戦(チャレンジ) | 10〃 | 姿勢         |

# 平成11年 新年のあいさつ

平成11年1月12日(火)  
ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。  
顧みますと、昨年は、いろいろなことがありました。  
まず、主な成果を挙げると、

- ① 戸塚区民大会(10/11)で高橋明子が小学女子4年生以下の部で優勝、高橋貞二先生が高校一般3・4段の部で準優勝、特筆すべきは、一般団体の部(大橋直美、平川雄之、高橋貞二)で第3位となったこと。
- ② 飯島大会(6/21)女子団体(高橋明子、村上輝、角本幸子)で第3位になったこと。
- ③ 第2回戸塚区小中学生錬成大会(5/23)で山崎碧が小学3年生以下の部で第3位になったこと。
- ④ 昇段審査では、初段は4名(牛島悠(4/29)、高松良介、角本幸子、山崎良枝(11/15))、2段は3名(近藤裕美、水野耕一、水野通代(11/15))、3段は1名(大橋直美(11/15))、5段は1名(高橋貞二(10/18))と9名が昇段したこと。  
これでドリーム剣友会創立以来、21年間で中学生の初段は、68名(ドリーム剣友会全体の昇段累計は124段)が誕生したこと。
- ⑤ 初心者が減ってきて、稽古をしたい大人が増えてきたため、市の集会所で行っていた「初心者稽古」を11月から体育館で「日曜稽古」として行うようになったこと。
- ⑥ ハイキング(5/31)は、金沢八景の野島公園に潮干狩りに行ったこと(26名参加)。
- ⑦ 夏期合宿(御殿場:国立中央青年の家)(8/23~25)を行ったこと(28名参加)。

等と大きな成果を挙げることができました。会員の努力の結果だと思えます。今年も良い年となりますよう会員の頑張りを期待します。

さて、今年の標語は「**構え**」とします。構えには、**身構え**と**心構え**があります。身構えには、**中段の構え**、**上段の構え**、**下段の構え**、**八相の構え**、**脇構え**の5つがありますが、一方、目には見えない**心構え**は、剣道だけでなく、日常の生活においても「正しい心構え」が求められていますので、今年の標語にしました。心構えは、目には見えないと言っても、どこかに形として現れますから、注意しなければなりません。油断(すき)のない構えは、正しい身構えと心構えがあつてこそ、実現できるのです。

剣道で「心身」ともにきたえて「正しい構え」となるようがんばろうではありませんか。

## 平成12年 新年のあいさつ

平成12年1月11日（火）  
ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

顧みますと、昨年は、いろいろなことがありました。

まず、主な成果を挙げると、

- ① 昨年の特筆すべきことは、昇段審査で渡部先生が7段（5/3），谷口会長が4段（11/7），その他初段で大島照子（4/29），小山佳祐（11/14）という成果がありました。
- ② 戸塚区民大会（10/17）で小3年以下の部で高橋和也が優勝，小女4年以下の部で高橋明子が2年連続の優勝，高校一般女子の部で大橋直美が準優勝するという成果がありました。
- ③ 飯島大会（6/6）で女子団体（高橋明子、村上輝、角本幸子）で準優勝になったこと。（1昨年は同メンバーで第3位）
- ④ 第3回戸塚区小中学生錬成大会（5/22）で小学3年生以下の部で高橋和也が第3位，小学4年生の部で高橋明子が第3位になったこと。
- ⑤ 市ハイツの文化祭（10/31）で日本剣道形を披露したこと。（5組）
- ⑥ ハイキング（5/23）は，七沢森林公園に行ったこと（30名参加）。
- ⑦ 夏期合宿（横浜市少年自然の家赤城林間学園（群馬県利根郡昭和村：8/27～29）に行ったこと（26名参加）。

等と大きな成果を挙げることができました。会員の努力の結果だと思えます。

さて、今年の標語は「**集中力**」とします。集中力とは、力を集めること、また、集める力とも言います。バラバラな力を集めることによって大きな力をつくることができます。

例えば、1本の矢はすぐ折れるが3本集まると折れ難くなります。みんなが協力すると大きな仕事ができます。

剣道では、きけんたいいっち 気剣体一致、しんきりょくいっち 心気力一致などで集中力の必要性を説いています。気力、技の力、体の力を一つに集中（一致）させることによって大きな力（有効技：すばらしい技）が発揮されるのです。

今年は、勉強で集中力を発揮すること、剣道では、集中力で対戦し、更なる大きな成果を出せるよう頑張ろうではありませんか。

# 平成13年 新年のあいさつ

平成13年1月12日（金）  
ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

顧みますと、昨年は、いろいろなことができました。

まず、主な成果を挙げると、

- ① 昨年の特筆すべきことは、創立23周年記念大会を開催（11/23）し、団体に3位になったこと
- ② 戸塚区民大会（10/15）で小学4年生の部で高橋和也が準優勝、中辻治幸が3位、小学女子4年生以下の部で高松裕希が3位になったこと
- ③ いずみ大会（11/26）で小学4年生の部で高橋和也が優勝したこと、中学生の部で小山佳祐が感動（心を打つ）の試合をしたこと
- ④ 第4回戸塚区小中学生錬成大会（5/27）で小学4年生の部で高橋和也が3位になったこと
- ⑤ ハイキング（5/21）は、江ノ島に行ったこと（35名参加）
- ⑥ 夏期合宿（横浜市少年自然の家赤城林間学園（群馬県利根郡昭和村：8/18～20）に行ったこと（25名参加）

等と大きな成果を挙げることができました。会員の努力の結果だと思えます。

さて、近年、物が豊富になったこと、競争が激しくなったことなどから、「心」がおろそかになっているのではないかと思われま

したがって、今年は、「心」を見直す意味で、標語を「<sup>ひょうご</sup> 剣<sup>けん</sup>心<sup>しん</sup>」とします。

剣心とは、幕末の剣豪「島田虎之助」の有名な言葉である「剣は心なり、心正し<sup>けんまたただ</sup>かざれば剣亦正し<sup>けん</sup>からず、剣を学ばんと欲すれば、先ず心より学<sup>ま</sup>ぶべし。」から、引用した「剣心」です。

また、全日本剣道連盟では、『剣道修錬の心構え』を制定していますが、その中で「<sup>きりよく</sup> 気力、<sup>れいせつ</sup> 礼節、<sup>しんぎ</sup> 信義、<sup>まこと</sup> 誠、<sup>しゅうよう</sup> 修養、<sup>しやかいをあい</sup> 社会を愛して」として心の大切さを表しています。

さらに、ドリーム剣友会でも『<sup>しゅぎょうしやこころえ</sup> 修業者心得』の中で「言葉づかい、身なり、態度、文武両道、自分に克つ、社会に感謝」と、心の持ち方の重要性を掲げています。

剣道を修業する者は、先ずこの「心」を勉強する必要があります。

# 平成14年 新年のあいさつ

平成14年1月11日（金）  
ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

顧みますと、去年は、いろいろなことがありました。

まず、主な成果を挙げると、

- ① 去年の特筆すべきことは、創立23周年記念大会を開催（11/23）し、団体に3位になったこと
- ② 戸塚区民大会（10/15）で小学4年生の部で高橋和也が準優勝、中辻治幸が3位、小学女子4年生以下の部で高松裕希が3位になったこと
- ③ いずみ大会（11/26）で小学四年生の部で高橋和也が優勝したこと、中学生の部で小山佳祐が感動（心を打つ）の試合をしたこと
- ④ 第4回戸塚区小中学生錬成大会（5/27）で小学4年生の部で高橋和也が3位になったこと
- ⑤ ハイキング（5/21）は、江ノ島に行ったこと（35名参加）
- ⑥ 夏期合宿（横浜市少年自然の家赤城林間学園（群馬県利根郡昭和村：8/18～20）に行ったこと（25名参加）

等と大きな成果を挙げることができました。会員の努力の結果だと思えます。

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。去年は皆さんにとってどんな年でしたか？

ドリーム剣友会では、いろいろなことがありました。ハイキングは、雨のため残念ながら中止となりましたが、夏期合宿は15年振りに野辺山に行きました。環境の良いところで伸び伸び稽古ができました。飯盛山にも登りました。また、昇段審査では、小山君、水野君、近藤君が初段に、大島さんが二段に、水野さんが三段にそれぞれ合格しました。

また、大会では、区民大会で高橋和也が5年生の部で三位、いずみ剣友会で高橋姉弟がそれぞれ三位に入賞しました。今年は去年に比べて良い成績が残せられるようお互いに頑張りましょう。

さて、今年の標語は、「<sup>き</sup>あ<sup>い</sup>い」とします。今年の標語は、昨年12月にめでたく内親王愛子様が生誕されました。そこで愛様の名前から「あ<sup>い</sup>」をいただき、「<sup>き</sup>あ<sup>い</sup>い」といたしました。気合には心の気合と発声の気合があります。内に秘めた気合、表に現れた気合があります。また、気合は自分に対する（自分を励ます）ものと相手に対する（相手を威嚇する・時には励ます）ものもあります。

いずれも剣道や人生において大事な心の働きであります。

# 平成15年 新年のあいさつ

平成15年1月10日（金）  
ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

顧みますと、去年は、いろいろなことがありました。

まず、主な成果を挙げると、

- ① 去年の特筆すべきことは、渡部先生が全日本高齢者剣道大会（寿Bの部（80歳から84歳））で優勝という輝かしい成績を残しました。  
快挙と言うほかありません。
- ② 昇段審査では、4/29には、初段（大島和也）、2段（小山桂佑）、3段（近藤裕美）が、12/8には、初段（高橋直子）、3段（佐藤節子）がそれぞれ昇段しました。
- ③ 各種大会では、いずみ大会（中学女子の部）で高橋明子が第3位になったものの、その他の区民大会等で惨敗でした。
- ④ ハイキング（5/25）は、金沢自然動物公園に行ったこと（ 名参加）
- ⑤ 夏季合宿は、国立中央青年の家（御殿場市：8/27～29に行ったこと（27名参加）

等と一定の成果を挙げることができましたが、③のとおり大会での入賞がほとんどなく、悔しい思いをしました。

これらを踏まえて、今年は、成績を残せる稽古方法を考えたいと思っています。

そこで、今年の標語は、「かつ」とします。かつを漢字で書けば、「勝」、「克つ」、「喝」、「活」ともなります。

それぞれに、各人の「かつ」があると思いますので、今年の標語「かつ」に向かってがんばろう。



# 平成16年 新年のあいさつ

平成16年1月9日（金）  
ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。  
顧みますと、去年は、いろんなことがありました。  
月別に主なものを挙げると

- ① 1月に渡部先生が横浜市からスポーツ奨励賞を受賞したこと。
- ② 3月に師範が病気で10日間入院したこと。
- ③ 8月に合宿（野辺山）を行ったこと。
- ④ 9月に創立26周年記念大会を開催したこと。
- ⑤ 11月に青葉区民秋季剣道大会に3名が参加したこと。
- ⑥ 12月に茂木が2段に昇段したこと。

等といろんなことがありましたが大会での入賞が全くなく悔しい思いをしました。

そこで、今年の標語は「夢」とします。夢はドリームとも言います。

夢とは、目標、希望、やりたいこと、志などです。夢があれば、夢を実現させるためつらいこと（稽古、勉強、お手伝い）でも乗り越えられます。夢があれば、明るくなりいきいきします。夢があれば、意欲、想像力、探求心、力が湧いてきます。

札幌の農学校の先生、クラーク博士は、「青年よ大志を抱け。富や自らの功績のためではなく、いわゆる名声と呼ばれるはかない物のためではなく、人が備えねばならない物を身につけるために大志を抱け。」と言いました。

「会員よ夢を持て、夢は想像や元気のもとである。夢があれば何でも乗り越えられる。自分を信じて夢に向かって突き進め。！！」

## 平成17年 新年のあいさつ

平成17年1月11日（火）  
ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。  
顧みますと、去年は、いろいろなことがありました。  
月別に主なものを挙げると

- ① 4月に馬場さんが2段に昇段したこと。
- ② 6月にハイキングに行ったこと。
- ③ 11月に青葉区民秋季剣道大会に4名が参加したこと。
- ④ 12月に大島和也が2段に、高橋明子が初段に昇段したこと。

等といろいろなことがありましたが、大会での入賞が全くなく悔しい思いをしました。  
八段、六段、五段でも昇段がありませんでした。

そこで、今年の標語は、昨年と同様に「夢」とします。夢はドリームとも言います。

夢とは、目標、希望、やりたいこと、志などです。夢があれば、夢を実現させるためには、つらいこと（稽古、勉強、お手伝い）があっても乗り越えられます。夢があれば、明るくなりいきいきします。夢があれば、意欲、想像力、探求心、元気が湧いてきます。

「夢」又は「ゆめ」と書いて、胴の裏に張っておいて下さい。  
ゆめが実現しますように。ナムナム・・・・・・・・。

## 平成18年 新年のあいさつ

平成18年1月13日（金）  
ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。  
顧みますと、去年は、いろいろなことがありました。

- ① 3月（3/20）の飛桜剣士会合同稽古会で三位に入賞しました。
  - ② 4月（4/29）に中辻治幸が初段に、5月（5/29）谷口庄一会長が5段に昇段したこと。
  - ③ 5月（5/8）の連盟理事会で渡部先生が監事になったこと。
  - ④ 6月の創立28周年大会は、のびのびになり結局開催できなかったこと。
  - ⑤ 7月（7/31～8/1）に合宿（上郷市民の森）、ハイキング（金沢自然動物公園・セミとり）を行ったこと。
  - ⑥ 10月（10/30）に青葉区民秋季剣道大会に4名が参加したこと。
- 等といろいろなことがありましたが、区民大会での入賞が去年に続きなく悔しい思いをしました。

さて、今年の標語は、「素直」とします。素直は人生において、自分（剣道、学業、仕事）を高めてくれる「心の持ち方」です。

素直に人の話を聞く態度は、周りの人から信頼を得るとともに、助言を得られるため、結局プラスになります。「素直は得をする。」ことになります。胴の裏に「素直」と書いて、張っておいて下さい。

今年こそ、素直な気持ちで剣道に、勉強に、主婦業に、仕事に精を出しましょう。会員の精進に期待しています。

（参考）

五つの心

- 一、ありがとうございますという感謝の心
- 一、はいという素直な心
- 一、すいませんという反省の心
- 一、おかげさまでという謙虚な心

【名前の由来】・・・日常の五心

- 一、「はい」という素直な心
- 一、「すみません」という反省の心
- 一、「おかげさま」という謙虚な心
- 一、「私がします」という奉仕の心
- 一、「ありがとう」という感謝の心

## 平成20年 新年のあいさつ

平成20年1月11日（金）  
ドリーム剣友会 師範 小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

顧みますと、去年は、いろいろなことがありました。

- ① 4／21 師範が戸塚区の副会長に選任されたこと。
- ② 7／1 創立30周年記念大会を盛大に行ったこと。
- ③ 9／16 戸塚区民剣道大会で中村和世が婦人の部で第三位に入賞したこと。
- ③ 10／13 ハイキング（藤沢御所見）に行ったこと。
- ④ 10／21 飯島大会において、第三位に入賞したこと。
- ⑤ 11／17 ゆめかながわスポーツ健康シニアフェスタシニアフェスタ2007  
剣道大会（県立武道館）で渡部先生が敢闘賞（70歳以上の部）を  
受賞したこと。
- ⑥ 11／29 高橋貞二先生が6段に昇段したこと。
- ⑦ 今年の新入会員が8名（田中嶋、石井、茂木、向井、藤田、伊勢野和、伊勢野優、  
秋山）と一挙に増えたこと。

と、いいこともありました。一方

- ① せっかく実技で合格しながら、形で合格できなかったこと。
- ② 会員の伴侶が病気になり、看護などで剣道に集中できなかったこと。
- ③ 創立30周年大会の記録ミスにより、第三位を逃したこと。

等といろいろなことがありました。

さて、今年の標語は、「健康」とします。健康は人生において最大の財産です。いくらお金があっても、いくら地位が高くとも、いくら力があっても、いくら知識があっても、健康を損なえば、それらの力は、価値を発揮できません。だから、「健康が第一」と言われているのです。

では、健康とは何か。健康とは心と身体がすこやかで元気がよいことでもあります。心と身体は一体です。心が病めば身体が病みます。身体が病めば、心が病みます。日頃から剣道で心と身体を鍛えて健康になろうではありませんか。

今年は、特に健康な心と身体を作ろう

平成21年1月から平成24年1月の「新年の挨拶」は作成されず  
 (妻の自宅介護：平成20年6月～、逝去：平成21年5月)

【参考】 標語の歴史

|    |             |    |       |
|----|-------------|----|-------|
| 昭和 | 年           |    |       |
| 56 | 努力 (初)      | 11 | 構え    |
| 57 | 耐える         | 12 | 集中力   |
| 58 | 克つ          | 13 | 剣心    |
| 59 | 元気          | 14 | 気合    |
| 60 | 流汗          | 15 | かつ    |
| 61 | あいさつ        | 16 | 夢     |
| 62 | 感謝          | 17 | 夢     |
| 63 | 初心と基本       | 18 | 素直    |
| 平成 |             | 19 | 素直    |
| 元年 | つづける        | 20 | 健康    |
| 2  | せめる         | 21 | あいさつ  |
| 3  | がんばって       | 22 | 元気    |
| 4  | 挑戦 (チャレンジ)  | 23 | 元気    |
| 5  | 飛躍 (ジャンプ)   | 24 | 元気    |
| 6  | 気           | 25 | ありがとう |
| 7  | 思いやり        |    |       |
| 8  | 自学自習 (百錬自得) |    |       |
| 9  | 初心忘れず       |    |       |
| 10 | 姿勢          |    |       |

## 平成25年 新年のあいさつ

平成25年1月8日（金）

ドリーム剣友会会長（師範）小島甲子治

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

顧みますと、去年は、いろんなことがありました。

- ① 3/4 神奈川県剣道祭で渡部先生が優秀選手賞を受賞したこと
- ② 4/12 父母会総会で改善改革を決定したこと（父母会の役割を軽減→剣友会へ）
  - ・会長1名を世話役2名にしたこと
  - ・年間行事と係分担を決定したこと
  - ・役員会は必要に応じ開催すること（おおむね2か月に1回）
  - ・日曜稽古を廃止したこと
  - ・月会費を値下げしたこと（2,800円を2,000円他）
  - ・予定表の作成と配信は会長・師範からメール配信（一部は紙）
- ③ 4/29・12/9 中学3年生全員4名が二段に昇段したこと
- ④ 6/17 創立35周年記念大会を大正同好会の協力で盛大に行なったこと
- ⑤ 4/2・5/14 新入会員募集を2回行ったこと
- ⑥ 6/23 ドリーム剣友会のホームページを「ドリームハイツの歩き方」に掲載してもらったこと
- ⑦ 6/24 田中嶋先生が副将で出場した戸塚区が横浜市民マスターズ大会で優勝したこと
- ⑧ 7/25 7/1に不具合から閉鎖していたホームページ「戸塚区剣道連盟副会長のホームページ」を再開したこと
- ⑨ 8/3・11/5・11/6  
新入会員（菊池あかり、菊池<sup>こたろう</sup>虎太郎、鈴木<sup>あやの</sup>綾乃）3名あったこと
- ⑩ 12/23 納会・忘年会は、参加者少数により冬季大会を中止し、稽古、相撲、昼食後解散、その後忘年会を夢庵で。

等といろんなことがありました。

さて、今年の標語は、「ありがとう」とします。ありがとうは感謝の気持ちを表した言葉です。

人は一人で生きていけません。周りの助けや協力があってはじめて生きていけるのです。助けたり助けられたりして人々は生きています。

お世話になっている父母・兄弟、友達、先生に感謝の気持ちを伝えましょう。そうすることによって、自分の感謝の気持ちは、相手に感謝の気持ちを育て、自分に帰ってきます。

私の妻の病氣療養から他界によって毎年作っていた「新年のあいさつ」を中止していましたが、今年から再開します。妻の墓石には「ありがとう」が刻まれています。

亡くなってから気づいた感謝の気持ち「ありがとう」は、生きているうちに使ってこそ価値があるのです。今年は惜しみなく使いましょう。